

平成 30 年度兵庫県（姫路市）地域社会剣道指導者研修会

期 間：平成 30 年 8 月 15 日（水）～17 日（金）

会 場：ウイック武道館（兵庫県立武道館）

参加者：16 名 ※中学校教員 11 名、高校教員 4 名、小学教員 1 名。うち段位・級位を持たない
剣道初心者 10 名。

派遣講師：水田 重則 範士八段 全日本剣道連盟
渡邊 香 教士八段 全日本剣道連盟

【内 容】

1 日目（15 日）は、開講式終了後、中学校武道必修化指導書 DVD（剣道編）を視聴した後、渡邊講師による「剣道の特性について」の講義があった。剣道は「日本固有のものであること」「日本古来の伝統的運動文化として今日に継承していること」「人格教育に対する取り組みがあげられること」の 3 つの特性があげられる。また、実技指導を行う場合でも実技研修を受ける場合でも「刃筋」「打突部位」「適正な姿勢」「充実した氣勢」「残心」を念頭において行うことが必要であるとの講義が行われた。

その後、「基礎動作」の指導、昼食休憩を挟み「面打ち、小手打ち」続いて、「胴打ち」及び「面をつけて基礎動作」までの指導が水田、渡邊両講師からあった。

2 日目（16 日）は、前日から引き続いて両講師による「相手の打ちに対して」「引き技」及び「抜き技」、最後に「稽古」「切り返し」の指導があった。

最終日（17 日）は、「審判について」が行われ、受講生はその都度、2 名の中央講師に自身の疑問点や課題点の克服をどのようにすればよいかなど休み時間も惜しんで質問を繰り返していた。受講者にとって大変有意義な 3 日間となったことだろう。



渡邊講師による講義



渡邊講師による素振り稽古



水田講師による防具装着



渡邊講師による面の装着



水田講師による木刀の指導



渡邊講師による竹刀指導

【受講者の感想】

- ・基礎的な内容を丁寧にご指導いただけだったので、生徒への接し方を学ぶことができた。(中学校教員、男性)
- ・自分の学校では柔道が必修科目であるが、それが剣道に変更になる場合のことを考えて参加した。(教員、女性)
- ・日本武道(剣道)の美しさ、素晴らしさ、面白さを体験できた。(高中教員、女性)
- ・受講前は評価の仕方が難しいと感じていた。細かい動きやその意味を理解することが課題である。(高中教員、女性)
- ・生徒の「人格形成」を大切に授業を行いたい。(高中教員、男性)